

平成 30 年度活用メニュー及び新規提案

(活用メニュー)

- ・ テレビ電話を活用した薬剤師による服薬指導の対面原則の特例
- ・ 農家レストラン設置に係る特例

(新規提案)

- ・ サンドボックス制度の活用による
散在する農地を結ぶ公道を含めたトラクター等の無人自動走行
遠方に散在する農地の状況確認のためにドローンの目視外自動飛行
- ・ 官民一体となった企業の農業参入の加速化、中山間地域におけるスマート農業の推進

平成 30 年度 活用メニュー数：2 件、認定事業数：2 件

平成 29 年度 活用メニュー数：2 件、認定事業数：2 件

自己評価

【評価できる点】

- ・ テレビ電話を活用した薬剤師による服薬指導の対面原則の特例を全国で初の提案。平成 31 年 3 月に初めて活用があり、現在もオンライン服薬指導を継続している。市内でオンライン医療の機運が高まり、上記患者のかかりつけ医院とは別に市営の診療所でもオンライン診療を開始。
オンライン診療・オンライン服薬指導の登録状況 2 医療機関 3 調剤薬局
- ・ 平成 29 年度に認定を受けた自家用有償観光旅客等運送事業が平成 30 年 5 月 26 日より事業を開始。地域住民がドライバーとして地域社会へ参加する機会を創造しつつ所得の向上を図っており、隙間時間を活用した新しい地域貢献のモデルとして期待している。
- ・ 特区事業者のやぶファーム株式会社が西日本最大規模の生産量となる太陽光利用型水耕栽培施設を平成 30 年 4 月に整備。41 名（正規 2 名、非正規 39 名）の地域雇用を創出している。
- ・ 特区事業者の(株)トーヨー養父農業生産法人のグループ会社が地域資源（家畜糞尿、食品残渣）を活用したバイオメタンガス発電施設を平成 31 年 3 月に整備。正社員 10 名の採用を予定している。

自治体名：養父市

【課題】

- ・ 農業分野のメニュー活用がなかった。
- ・ 特区を契機に設立された農業法人の現状について。

今後の取組方針（活用したいメニューや注力したい分野、検討中の新規提案 等）

注力したい分野

- ・ 特区事業者(株)Amnak によるスマート農業技術の開発・実証プロジェクトへの支援
- ・ 特区事業者兵庫ナカバヤシ(株)によるドローンによる農地管理の支援
- ・ 中山間農業改革特区の効果検証

検討中の新規提案

- ・ オンライン医療の更なる規制緩和（対面診察の再診期間の延長等）
- ・ 自家用有償観光旅客等運送事業のエリア拡大
- ・ 法人農地取得事業の時限立法の撤廃
- ・ 養父市におけるスーパーシティ構想の提案に向けた検討

※1 複数ページに渡っても構いません。

※2 必要に応じて参考資料を添付してください。